



2024年5月15日

各 位

会 社 名 日 東 工 業 株 式 会 社  
代 表 者 名 取 締 役 社 長 黒 野 透  
(コード 6651 東証プライム・名証プレミア)  
問 合 せ 先 グループ経営企画統括部長 竹中 浩一  
( T E L . 0 5 6 1 - 6 2 - 3 1 1 1 )

### 日東工業グループ 2026 中期経営計画策定のお知らせ

当社グループは、2024年度から2026年度までの3カ年を対象とする中期経営計画を策定いたしましたので、添付ファイルの通り、お知らせいたします。

以 上

**NITO** NITTO KOGYO GROUP

# 2026中期経営計画

日東工業株式会社

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

Copyright© 2024 NITTO KOGYO CORPORATION All Rights Reserved.



# Agenda

## 01 長期経営構想

- 環境認識／重要課題
- グループ基本戦略
- 価値創造プロセス
- 長期成長ストーリー

## 02 2023中期経営計画 振り返り

## 03 2026中期経営計画

- 基本方針
- 財務目標
- 事業ポートフォリオ
- 事業戦略／グループ経営基盤
- サステナビリティ
- 財務方針・株主還元方針／資金配分計画

## Mission

# 地球の未来に「信頼と安心」を届ける

日東工業グループが注力する事業領域

電気と情報を通じた持続性の高い社会基盤の構築



美しい地球を次世代につなぐために事業を展開

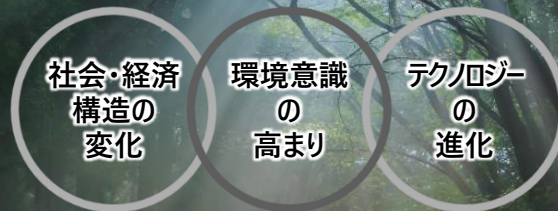
## Vision

# 誠実に問題解決にとりくみ 新たな価値創造に挑戦しつづける

日東工業グループが目指すもの

顕在化している課題のみならず、社会に潜在している  
問題をつかみ、困難な問題であっても解決に挑む

価値創造につなげる対処すべき重要な社会課題



持続可能な社会の実現に向けて果たす役割を広げていく

# 01

## 長期経営構想

### Agenda

#### 01 長期経営構想

- 環境認識／重要課題
- グループ基本戦略
- 価値創造プロセス
- 長期成長ストーリー

#### 02 2023中期経営計画 振り返り

#### 03 2026中期経営計画

- 基本方針
- 財務目標
- 事業ポートフォリオ
- 事業戦略／グループ経営基盤
- サステナビリティ
- 財務方針・株主還元方針／資金配分計画

### 社会・経済構造の変化

- 労働人口減少、少子高齢化
- 都市の老朽化
- 地政学リスクの高まり
- 社会や人の価値観の変化

### 環境意識の高まり

- カーボンニュートラルへの対応  
エネルギーシフト／モビリティ電動化の進展  
資源活用／循環型経済
- 自然災害の激甚化
- 水セキュリティ意識の高まり

### テクノロジーの進化

- データ量の爆発的拡大
- デジタル技術活用の急速な広がり
- AI・IoTの急激な進化
- 電動化・電子化・自動化の進展
- サイバーセキュリティリスクの増大

## サステナブルな社会の実現

環境・社会・経済の持続可能性への配慮により、  
事業の持続可能性向上を図る経営が必要不可欠

事業環境

経営環境

## プライム上場企業としての責務

グローバルで多くの機関投資家の投資対象になり、高い  
ガバナンス・持続的な成長・企業価値の向上が必要不可欠

### ステークホルダーからの期待

- 資本効率を意識した経営
- 資金の適正配分 [成長投資／株主還元]
- 非財務情報の開示要請
- 高度なガバナンス体制

### グループ経営の高度化

- シナジーの創出
- 成長事業への迅速な投資判断
- 事業ポートフォリオマネジメントの高度化
- リスクマネジメントのレベル向上

## 重要課題 マテリアリティ

## 事業環境の変化に伴う重要課題

## 環境意識の高まり

- ▶ 環境に優しい製品・サービスの提供を通じ環境負荷低減活動を推進し、脱炭素社会・循環型社会の実現に貢献する
- ▶ 防災・減災に関わる製品やサービスの提供により、強靱な社会の実現に貢献する

## 社会・経済構造の変化

- ▶ 生産性向上に資する製品・サービスの提供により、人口減少社会に貢献する
- ▶ インフラの更新・予防保全に関わる製品やサービスの提供により、強靱な社会の実現に貢献する
- ▶ 地政学リスク軽減につながる強固なサプライチェーンを構築する
- ▶ 業務改革により効率化を高める
- ▶ ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンを推進する

## テクノロジーの進化

- ▶ IoT・AI・ロボティクス技術の進展を支え、ニューノーマル社会の構築に貢献する
- ▶ デジタル技術を活用した生産・販売システムの構築など、利便性の高いサービスを提供する
- ▶ サイバーセキュリティを強化する
- ▶ 業務プロセスの改革を実現するデジタル化の対応力を高める

## 挑戦

機会への対応

## 変革

リスクへの対応

経営環境の変化に伴う  
重要課題

ステークホルダーからの期待

グループ経営の高度化

▶ 「挑戦」と「変革」を支える強固な基盤を構築

# グループ基本戦略



環境貢献につなげることで、経済的価値だけでなく社会的価値も高め、企業価値を向上させる

挑戦[機会への対応]と変革[リスクへの対応]を繰り返し企業進化を遂げる

主根であるコア事業を骨太にする

「グローバル化の推進」「事業・技術領域の拡大」により、事業の根を広げる

事業を支える盤石な土壌を築きあげる



# 価値創造プロセス

## 環境認識

### 環境意識の高まり

- ▶ 気候変動
- ▶ カーボンニュートラル
- ▶ 資源循環

### 社会・経済構造の変化

- ▶ 労働人口減少
- ▶ 地政学リスクの高まり
- ▶ 社会や価値観の変化

### テクノロジーの進化

- ▶ DXの急速な拡がり
- ▶ データ量の爆発的拡大
- ▶ サイバーセキュリティの確保

インプット

日東工業グループの事業活動

アウトプット・アウトカム

## 経営資源

### 財務資本

安定した財務基盤

### 人的資本

誠実で意欲旺盛な人材

### 社会・関係資本

誠実な対応による  
ステークホルダーとの信頼関係

### 製造・サービス資本

日本国内およびグローバルに  
広がる事業拠点

### 知的資本

独自性の高い技術・ノウハウ

## Mission

地球の未来に「信頼と安心」を届ける

美しい地球を次世代につなぐために事業を展開

### 環境貢献

### 進化

挑戦 × 変革

グローバル化  
の推進

コア事業の  
強化

事業・技術  
領域の拡大

グループ経営基盤の強化

## 注力する事業領域

電気と情報を通じた  
持続性の高い社会基盤の構築



## Vision

誠実に問題解決にとりくみ  
新たな価値創造に挑戦しつづける

## 持続可能な社会への貢献

- ✓ 電動化社会への貢献
- ✓ 脱炭素・循環型社会の実現に貢献
- ✓ 電気・情報インフラの強靱化に貢献
- ✓ 情報化社会への貢献
- ✓ 省人化・効率化への貢献

## 企業価値の向上

- ✓ 資本効率の向上
- ✓ 安定した利益還元
- ✓ 人的資本経営の推進
- ✓ DXへの対応
- ✓ 研究開発の強化
- ✓ 生産性向上

Mission

地球の未来に「信頼と安心」を届ける

2026中期経営計画

挑戦

機会への対応

ビジネスの拡大

社会課題の解決を通じて  
世の中に「信頼と安心」を届ける

変革

リスクへの対応

経営基盤の強化

大きな社会変化にも対応できる  
強靱な企業体質を築く

次期  
中期経営計画

事業環境  
経営環境

社会・経済  
構造の変化

テクノロジー  
の進化

環境意識  
の高まり

ステーク  
ホルダーから  
の期待

グループ経営  
の高度化

バックキャスト



- 解決すべき社会課題を特定
- 大きな社会変化を伴う未来観・未来像を想定

Vision

誠実に問題解決にとりくみ  
新たな価値創造に挑戦しつづける

2023中期経営計画

足場固めと攻めの経営

2021

2023

2024

2026

2027

2029

2030～

ビジネスを進化させる  
土台を築く

成長の仕組みを確立する

飛躍的な成長を実現する

成長しつづけるグループになる

# 02

## 2023中期経営計画 振り返り

### Agenda

#### 01 長期経営構想

- 環境認識／重要課題
- グループ基本戦略
- 価値創造プロセス
- 長期成長ストーリー

#### 02 2023中期経営計画 振り返り

#### 03 2026中期経営計画

- 基本方針
- 財務目標
- 事業ポートフォリオ
- 事業戦略／グループ経営基盤
- サステナビリティ
- 財務方針・株主還元方針／資金配分計画

## 財務目標 連結

連結売上高は達成したものの、営業利益ならびにROEは目標未達となった

連結売上高は過去最高を記録した一方で、原材料価格高騰の長期化や人件費を含む固定費の増加によって利益が圧迫された自己株式の取得・配当性向100%への引き上げ（2期限定）の遂行により、自己資本の抑制を図った [ROE向上効果：0.5%]

## 事業収益性

## 連結売上高

24年3月期  
目標1,500  
億円

実績

1,607  
億円

達成率

107%

内) 海外売上高

150  
億円154  
億円

海外売上比率

10.0%

9.6%

## 連結営業利益

24年3月期  
目標130  
億円

実績

119  
億円

達成率

92%

営業利益率

8.7%

7.4%

## 資本効率性

## ROE

24年3月期  
目標8.5  
%以上

実績

8.3  
%

## 財務目標 事業セグメント別

		24年3月期 目標		24年3月期 実績	達成率	評価
電気・情報インフラ関連 製造・工事・サービス事業	売上高	855	➤	951	111%	<ul style="list-style-type: none"> <li>底堅い設備投資を背景に、配・分電盤の販売が好調に推移したことで、売上目標を達成した</li> <li>部材価格高騰や人件費・エネルギー価格増加などに対し、価格改定等の施策を遂行するもコスト増の影響はそれらを上回り、営業利益は目標未達成となった</li> </ul>
	営業利益	99		91	93%	
	営業利益率	11.6%		9.6%		
電気・情報インフラ関連 流通事業	売上高	515	➤	509	99%	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上高目標はわずかに未達も、ネットワークカメラなどのソリューション商材を中心に売上を拡大。エネルギー・産業分野等に向けた新規事業も伸長した</li> <li>仕入れ部材価格の高騰に対して、機動的に販売価格転嫁などの対応を実施</li> </ul>
	営業利益	18		19	106%	
	営業利益率	3.5%		3.8%		
電子部品関連 製造事業	売上高	130	➤	146	112%	<ul style="list-style-type: none"> <li>車両の電動化推進に伴う需要を着実に捕捉したことで、自動車業界向けの販売を大きく伸ばし、売上増を牽引</li> <li>部材の需給ひっ迫対応や為替影響などにより売上原価が増加したことで、営業利益は目標未達成となった</li> </ul>
	営業利益	13		8	67%	
	営業利益率	10.0%		6.0%		

## 施策成果と認識した課題

新型コロナ感染拡大の影響で部材の調達難や価格高騰への対応に追われるなか、各種施策を確実に遂行した

セグメント	施策実績	課題・問題点
電気・情報インフラ関連 製造・工事・サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カーボンニュートラル実現に貢献する事業を展開 自家消費型蓄電池システムをリリース 株式会社三社電機製作所と資本業務提携 [技術連携]</li> <li>● 価格改定[値上げ]を敢行し、コア事業の収益性を改善</li> <li>● 海外事業の安定化と規模拡大 NITTO KOGYO BM (THAILAND) 新工場が稼働を開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 戦略事業の成長加速 顧客訴求力のあるエネルギー・マネジメント商材の創出 提供価値範囲の拡大 (工事・サービスなど)</li> <li>✓ デジタル技術を活用した販売・生産の変革 瀬戸工場のスマートファクトリー化</li> <li>✓ 海外事業の財務・収益体質改善</li> </ul>
電気・情報インフラ関連 流通事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 提案活動強化によるソリューション商材の販売拡大</li> <li>● エネルギー分野など 新たな市場への事業展開</li> <li>● 海外事業のエリア拡充 タイのMaster Controlsを買収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ コア事業の収益基盤強化 ECサイトの利用促進</li> <li>✓ 新市場向けソリューション力の強化</li> <li>✓ 海外事業の更なる拡大</li> </ul>
電子部品関連 製造事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● EMC技術支援サービスの強化 EV-Chamber 試験サービスを開始</li> <li>● 車両の電動化・電子化の推進に機能性部材で貢献</li> <li>● 海外ビジネスの展開強化 海外エンジニア向けEMC技術セミナーを開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 技術支援サービスの更なる競争力強化</li> <li>✓ 自動車業界内におけるプレゼンス向上</li> <li>✓ 海外の非日系メーカーとのコネクション強化</li> </ul>
グループ経営基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資本政策・株主還元方針の見直し BSマネジメントの強化</li> <li>● 人的資本経営の推進 健康経営優良法人2023(大規模法人部門)認定</li> <li>● サステナビリティ経営の推進体制を構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 資本収益性を意識したマネジメント強化</li> <li>✓ サステナビリティに関する取組みの加速</li> <li>✓ ポートフォリオマネジメントの実効性向上</li> </ul>

# 03

## 2026中期経営計画

### Agenda

#### 01 長期経営構想

- 環境認識／重要課題
- グループ基本戦略
- 価値創造プロセス
- 長期成長ストーリー

#### 02 2023中期経営計画 振り返り

#### 03 2026中期経営計画

- 基本方針
- 財務目標
- 事業ポートフォリオ
- 事業戦略／グループ経営基盤
- サステナビリティ
- 財務方針・株主還元方針／資金配分計画

## 基本方針

# 進化の加速

人の進化 技術の進化 事業の進化 企業の進化 グループの進化

挑戦と変革を繰り返し進化を遂げる

### 事業拡大への挑戦 / 積極的な成長投資

- ▶ 既存の市場・業界を越えた新たな事業の創出を目指す
- ▶ 海外市場の展開により事業規模を拡大する
- ▶ 新技術の獲得に向けた取組みを推進する
- ▶ 成長に向けた戦略投資 [M&A含む] を実行する



### 盤石な事業・経営基盤の構築

- ▶ 既存事業のプロセス（販売・生産）を改革する
- ▶ 様々なリスクに対応した強固なサプライチェーンを構築する
- ▶ 強靱なグループインフラ基盤を築きあげる
- ▶ 事業ポートフォリオマネジメントの実効性向上



# 財務目標

前中期経営計画で築き上げた足場[基盤]を使い、事業進化を加速させる3年間  
コア事業の更なる強靱化ならびに成長事業への果敢な挑戦を通じ、過去最高の売上高・営業利益の達成を目指す  
成長投資と株主還元の最適バランスを追求し資本効率性を高めることで、ROEの持続的向上を実現させる

## 連結売上高

27年3月期

**2,000**億円内 海外売上高 200億円  
(海外比率) 10%CAGR  
7.6%24年3月期 **1,607**億円

(内 海外売上高) 154億円

## 連結営業利益

27年3月期

**150**億円

営業利益率 7.5%

CAGR  
7.8%24年3月期 **119**億円

営業利益率 7.4%

## ROE

27年3月期

**9.0%**以上24年3月期 **8.3%**

## 事業ポートフォリオ 基本方針

経営資源の最適配分を通じてグループ収益力の持続的成長を実現する

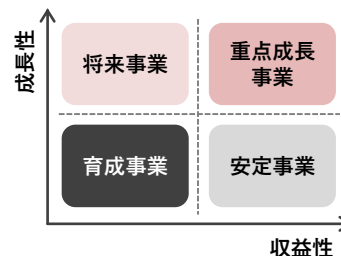
### 基本方針

長期ビジョン「誠実に問題解決にとりくみ 新たな価値創造に挑戦しつづける」を実現するために、  
適切な事業ポートフォリオマネジメントを行い、成長できる事業へのスピーディな投資を実行する  
グループ全体の価値創造を持続すべく、グループ全体最適の視点でマネジメントをすることを旨とする

#### マネジメント ポイント

- ▶ **成長性と収益性**から各事業の現在を俯瞰し、将来の事業の姿を見定める
- ▶ 中長期的な成長のための**リソース配分方針**を決定する

事業評価 マッピング



## 事業ポートフォリオ 成長の方向性

成長性・収益性から各事業の位置づけと方向性を明確にし、事業を推進する

### 重点成長事業

電気・情報インフラ関連  
流通事業

市場およびサービスの領域を広げることで、  
事業規模の拡大を目指す

### 安定事業

電気・情報インフラ関連  
製造・工事・サービス事業

コア事業

強い事業として盤石な基盤を構築するとともに、  
先進技術を活用し収益性を高める

### 将来事業

戦略事業

成長が期待できる市場への積極参入により  
規模を拡大し、将来の事業の柱を築く

電子部品関連  
製造事業

グローバルに稼ぐ力を高め、まずは規模の拡大を目指し、  
長期的に収益性を高める

## 事業戦略 | 電気・情報インフラ関連 製造・工事・サービス事業

事業セグメント

コア事業

強い事業として盤石な基盤を構築するとともに、先進技術を活用し収益性を高める

基本方針

戦略事業

成長が期待できる市場への積極参入により規模を拡大し、将来の事業の柱を築く

## コア事業の基盤強化



- 生産効率化の進展による収益性の強化  
生産自動化、スマートファクトリー など
- 販売システムの更なる進化と市場浸透促進
- グループ会社間の連携強化による事業体制の  
拡大および強靱化

## 戦略事業の推進



- 海外拠点の経営基盤およびマーケティング機能の  
強化 海外ローカル販売の拡大、生産体制確立 など
- 環境関連製品[エネルギー・マネジメント/ EV充電設備]  
事業の基盤構築  
提供商材の拡充、サービス事業の確立 など
- 社会課題を見据えた新たなビジネスの創出

## 財務目標

売上高

24年3月期

951 億円

27年3月期

1,200 億円

CAGR 8.0%

営業利益

24年3月期

91 億円

27年3月期

110 億円

利益率 9.6%

9.2%

## 事業戦略 | 電気・情報インフラ関連 製造・工事・サービス事業

## 国内に次世代型新工場を建設

コア事業

## 1. 需要拡大が見込める大型製品の生産能力を増強

- ▶ 半導体関連の設備投資活況、労働人口減少に伴う自動化促進、製造業の国産回帰などによるFA・制御市場の活発化
- ▶ カーボンニュートラル実現に向けた蓄電池をはじめとするスマートエネルギー市場の拡大

大型キャビネットの生産能力 およそ1.5倍

## 2. 最新テクノロジーを駆使した自動製造ラインを構築

- ▶ デジタル技術を活用し、生産と販売の業務フローの自動化を実現
  - ・ 将来の少子高齢化に伴う労働人口減少への対応
  - ・ 生産効率を追求し、収益性の向上に寄与

コスト削減効果 [試算] 年間およそ6億円

## 3. サステナビリティを重視した環境配慮型工場

- ▶ 「BELS」評価で最高ランクの5つ星を獲得すると同時に、創エネによるエネルギー収支ゼロ「ZEB」認証も取得 ※ 詳細は当社ホームページ掲載の[ニュースリリース\(2023年12月8日\)](#)を参照
- ▶ 老朽化が進む既存工場のスクラップ&ビルドを実施し、事業継続性を高める

## 日東工業株式会社 瀬戸工場

所在地	愛知県瀬戸市八床町22番の4
敷地面積	253,000㎡
建物面積	工場棟 50,000㎡ (一部2階)
工場概要	鉄骨造・2階建て
操業開始	2024年4月



## 事業戦略 | 電気・情報インフラ関連 製造・工事・サービス事業

## テンパール工業株式会社のグループ参画

コア事業

## 1. ブレーカ関連の事業基盤強化

- ▶ 「開発・生産」における協力体制を構築
  - 労働人口の減少が避けられない中、配電関連コンポーネントを永続的に供給し続ける社会的役割を果たす

## 2. 新たな提供価値の創出

- ▶ これまで培ってきた技術や得意分野を相互に最大限活用
  - 今後、重要性が高まっていくことが見込まれる直流回路の安全性向上に貢献する

## &lt;会社概要&gt;

## 事業内容

配線用遮断器、漏電遮断器、住宅用分電盤の設計・開発・製造・販売

## 業績

2023年3月期 売上高 105億円



遮断器



住宅用分電盤



## スマートエネルギー事業の合併会社設立

戦略事業

## 1. 提供価値範囲の拡大

- ▶ 太陽光発電や蓄電池をはじめとする分散型電源の導入において、引合いから設置・施工、保守・メンテナンスに至るまでをワンストップで提供
  - 資本参加する4社それぞれが得意とする領域を結集させることで、スマートエネルギー市場での競争優位性を高める



EMソリューションズ株式会社

カーボンニュートラル ソリューション プロバイディング



Products ×  
製造業GX対応  
シミュレーション技術



× NITTO 日東工業 ×  
電気設備製品  
設計・製造・販売



× SanRex 三社電機製作所 ×  
電源製品  
設計・製造・販売



× TOKUSAI 徳倉建設  
建築関連  
設計・施工ノウハウ



日東工業 掛川工場

産業用太陽光自家消費蓄電池システム「サファLink-ONE」実証機  
(掛川工場)

※ 詳細は当社ホームページ掲載の[ニュースリリース\(2024年1月31日\)](#)を参照

※ 詳細は当社ホームページ掲載の[ニュースリリース\(2024年3月1日\)](#)を参照

## 事業戦略 | 電気・情報インフラ関連 流通事業

事業セグメント

## 基本方針

市場およびサービスの領域を広げることで、事業規模の拡大を目指す

## ソリューション事業の強化



- ・ 提案商材、ターゲット市場の拡充  
環境エネルギー、FA、データセンター など
- ・ 商材販売を超えたビジネス領域の拡張  
現調・提案、設置・施工 など
- ・ 海外販売拠点 [タイ/ベトナム] でのソリューション  
ビジネス拡大

サプライチェーン  
マネジメントの進化

- ・ 情報通信 重要市場の顧客ネットワーク強化  
通信キャリア、システムインテグレーター など
- ・ 取引先との販売プロセスのデジタル化推進  
ECサイト [GOYOU] の活用促進 など
- ・ 仕入先との連携強化

## 財務目標

## 売上高

24年3月期

509億円

27年3月期

620億円

CAGR 6.7%

## 営業利益

24年3月期

19億円

27年3月期

25億円

利益率 3.8%

4.0%



## 事業戦略 | 電子部品関連 製造事業

事業セグメント

## 基本方針

グローバルに稼ぐ力を高め、まずは規模の拡大を目指し、長期的に収益性を高める

## 海外ビジネスの拡大



電動車 アフターサービス

- 日系メーカー海外現地法人との関係深化
- 非日系メーカーの開拓
- EMC対策支援体制の構築  
海外試験サイトとのアライアンス強化 など
- 海外における製造・調達機能の見直し

## ソリューションの強化



電動車 電子回路 産業機械 電子制御

- 高度化が進む電動・電子化に向けたコア技術の深耕 次世代パワーデバイスに対するEMC対策 など
- 成長市場への部材供給範囲の拡大  
自動車含むモビリティ市場、環境エネルギー市場 など
- コア技術を活かした新機能部材の開発

## 財務目標

売上高

24年3月期

146億円

27年3月期

180億円

CAGR 7.2%

営業利益

24年3月期

8億円

27年3月期

15億円

利益率 6.0%

8.3%





## グループ経営基盤 | 人的資本

次代を見据え人的資本の極大化を図っていき、グループの持続的・永続的发展につなげる

## 創出

成長の機会を与えるだけでなく、  
自律的なキャリア形成を支援

- キータレントの育成・獲得  
経営人財・技術人財・グローバル人財・DX人財 など



## 活躍

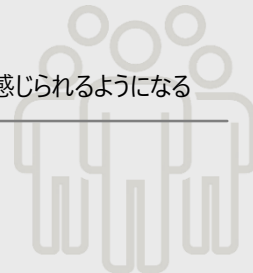
グループ内での人財流動性を高め、  
様々な経験を通して成長を実感できるようにする

- タレントマネジメントの強化
- ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進

## 持続

働きがいの実感を高めるとともに、グループ従業員としての誇りを感じられるようになる

- 働きやすい職場環境の整備
- 挑戦しやすい風土の醸成
- 従業員の健康維持・促進

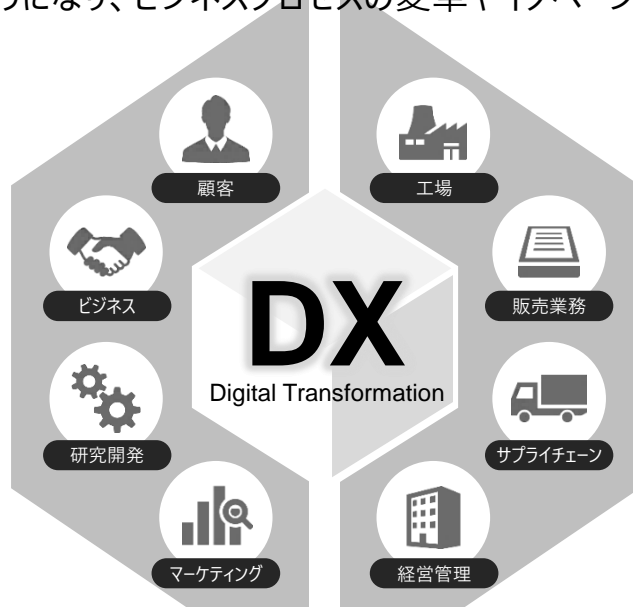


## グループ経営基盤 | DX デジタルトランスフォーメーション

デジタル技術を最大限活用できるようになり、ビジネスプロセスの変革やイノベーションの推進へとつなげる

### 攻め

- ビジネスプロセスの変革  
顧客接点を含めた既存ビジネスに捉われない  
抜本的改革
- データを使った新たなビジネスの創出  
製品・サービスの提供価値向上



### 守り

- データ活用できる強固なインフラ基盤を構築  
セキュリティ/ネットワークなど
- 業務プロセスにおけるデジタル融合推進  
販売業務/生産管理/生産工程など
- 迅速な経営判断につながるデータの活用促進  
労務人事/経理・財務など

### DX人材の強化

- グループ全体のデジタルリテラシーの底上げ
- プロフェッショナル人材の創出

## グループ経営基盤 | 研究開発

未来社会を想見しグループの技術価値を高めることで、持続可能な社会の実現に対する貢献度を高める

### カーボンニュートラルの実現



### 社会インフラの進化



### 自動化・省人化の進展



#### 新たな技術の獲得

- 要素研究の拡大・深化
- 対外企業・団体・大学とのアライアンス強化  
積極的な資本提携・M&Aの遂行
- 技術人財のリスキリング推進

#### 研究開発基盤の強化

- 知的資本の活用最大化
- 海外を含めた知的財産権の確保
- 試験・解析などの技術支援体制の拡充

## サステナビリティ

サステナビリティに対する取り組みを強化することで社会の持続可能性向上に寄与し、企業価値向上につなげる



環境

Environment

## 2050カーボンニュートラルの実現

- 2030年 GHG排出量 Scope1,2,3  
30%削減
- 企業活動による自然環境への負担低減

企業活動が自然環境に  
良い影響を与える世界を目指す

## 来たるべき循環型社会に備える

- 環境に配慮した製品設計
- 再生利用可能な原材料の使用

資源供給が途絶えてしまっても  
事業継続可能な姿を目指す



社会

Social

## 人財価値を最大限に引き出す

- 働く人財の活躍／優秀な人材の確保
- 豊かで幸せな暮らしを実現するための  
働く場を提供

「魅力ある人」が育ち・活躍することで  
次代を担う人財を創出する

## 社会と良好で発展的なつながりをつくる

- 企業活動における社会的責任を果たす
- あらゆるステークホルダーとの価値共創

社会に頼られる企業グループとなる



ガバナンス

Governance

## グループ内活動の推進

- 監査・内部統制の連携促進
- サステナビリティ委員会／グループ環境委員会によるモニタリングと活動連携

グループ全体で  
リスクに対するレジリエンスを高める

## 法令・企業倫理の遵守

- 社員へのグループ人権方針の浸透と実践
- グループ企業倫理綱領に基づく教育

高い倫理観・道徳観に根ざした  
コンプライアンス経営の実践

# 財務方針・株主還元方針

負債を活用した成長投資を果敢に実行するとともに、高配当の継続により自己資本の抑制を図り、資本効率を高める

## 財務方針

資本コストの意識を高め、資本効率 [ROE] の持続的な向上を図る

- ▶ 資金を積極的に成長投資（資本提携・M&A含む）へと振り向け、収益力強化を目指す
- ▶ 有利子負債を活用することで、財務レバレッジを高める
- ▶ 高い株主還元を通じ、自己資本をコントロールする

### 株主還元方針

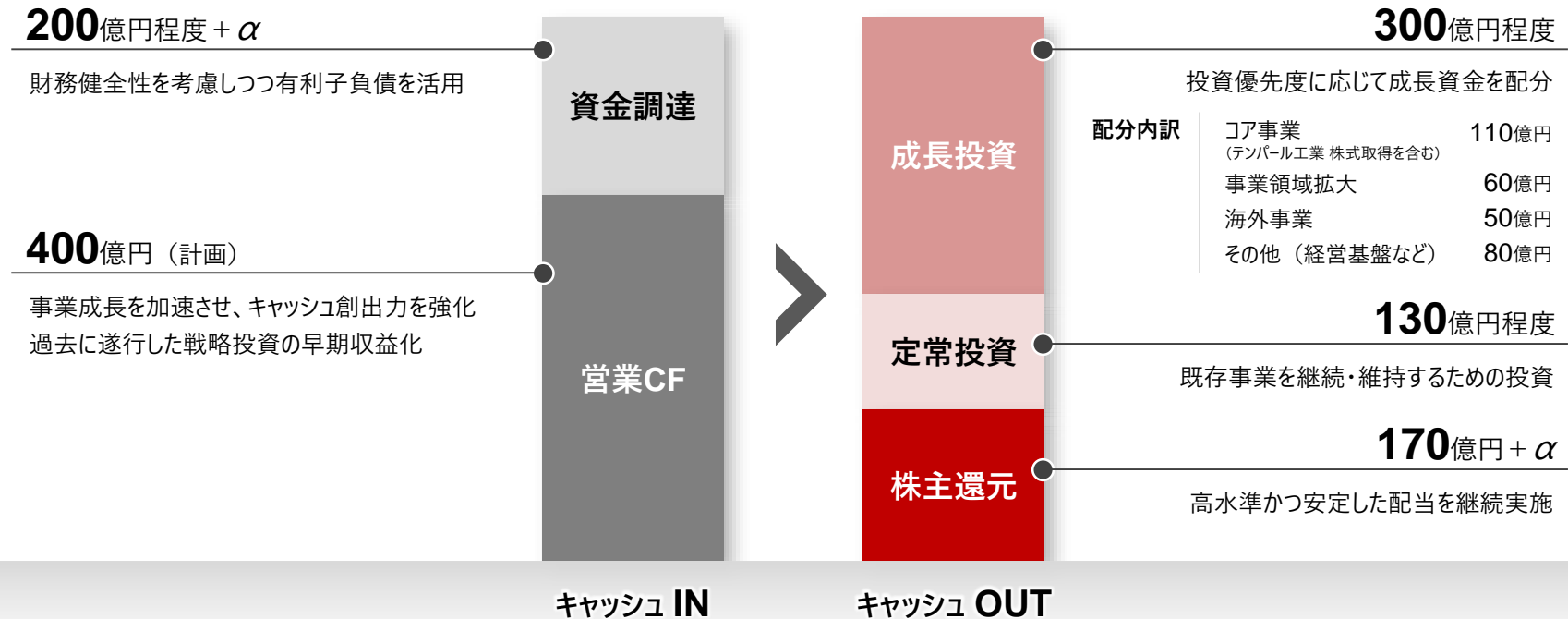
- 配当性向 50%（純資産配当率 DOE 4.0%を下限）
- 必要に応じて機動的に自己株式の取得・消却を実施

## 財務関連指標

		2023中期経営計画			2026中期経営計画		
		22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	27年3月期
資本効率	ROE	6.7%	5.5%	8.3%	最終年度に9.0%以上		
	株主還元				3ヶ年を通じて 50%		
	配当性向	30%	100%	100%	純資産配当率 DOE 4.0%を下限とした安定配当		
	1株あたり配当	50円	145円	230円	機動的に実施		
	自己株式取得	40億円	—	—			

# 資金配分計画

成長を重視し、長期的な企業価値向上を目指し、資金を適正に配分



中期経営計画期間における3ヶ年累計額

< 2024～2026年度 >



# CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～

**NITO** NITTO KOGYO GROUP

## 本資料に関する注意事項

本資料に掲載されている日東工業（以下、当社）の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報に基づき当社の経営者が判断したものです。実際の業績は、本資料掲載内容とは異なる結果となる場合がありますので、これら業績見通しに依拠なさないようお願い致します。

実際の業績に重大な影響を与えうる重要な要因には、①当社の事業領域をとりまく経済情勢／②市場における当社製品に対する需要動向／③競争激化による価格下落圧力／④激しい競争にさらされた市場において、当社が顧客に受け入れられる製品・サービスを提供し続ける能力／⑤為替レートの変動 などが 있습니다。ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

（参照：事業等のリスク <https://www.nitto.co.jp/IR/management/risk/>）

本資料に掲載されている情報は、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関するご決定は、ご自身の判断においておこなうようお願い致します。